



静岡バイパス

清水立体

至名古屋

新インターチェンジ(八坂地区)

清水IC西交差点

東名清水インターチェンジ

西久保交差点

新インターチェンジ(尾羽地区)

庵原交差点

庵原川

千日原交差点

尾羽交差点

東海道新幹線

(仮)横砂交差点

至東京

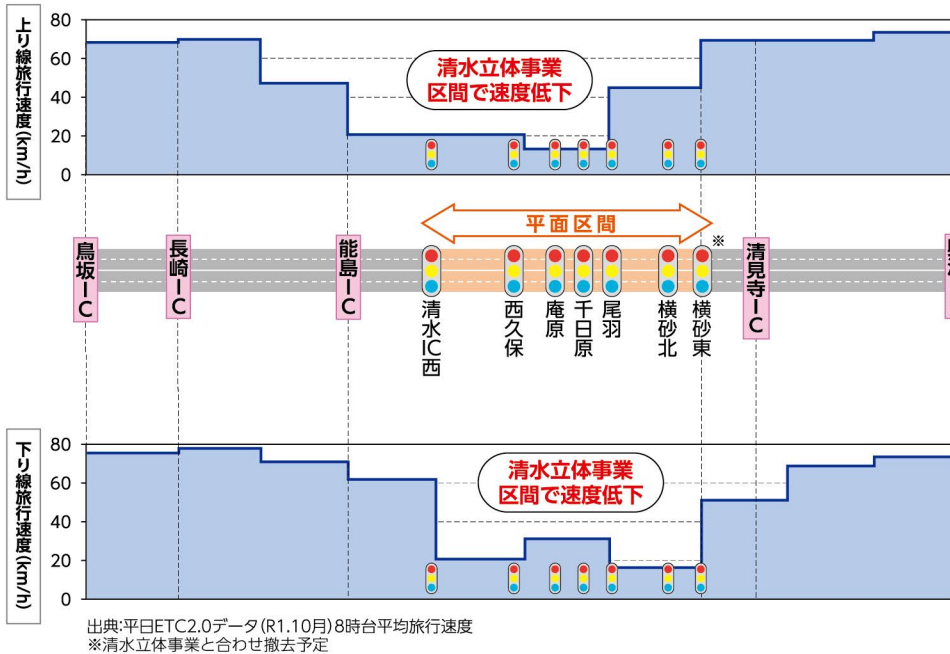
完成イメージ

事業効果

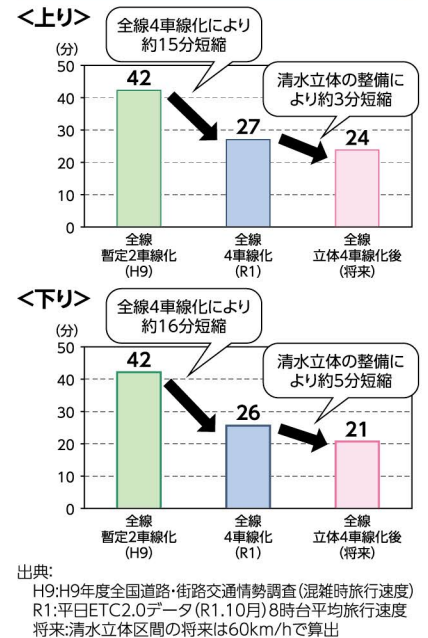
交通渋滞の緩和

- 清水立体事業区間の平面区間では、慢性的な交通渋滞により速度低下が発生しています。
- 静清バイパスの4車線化による約15分の時間短縮に加え、清水立体整備によりさらに約5分程度の時間短縮が見込まれます。

国道1号静清バイパスにおける旅行速度



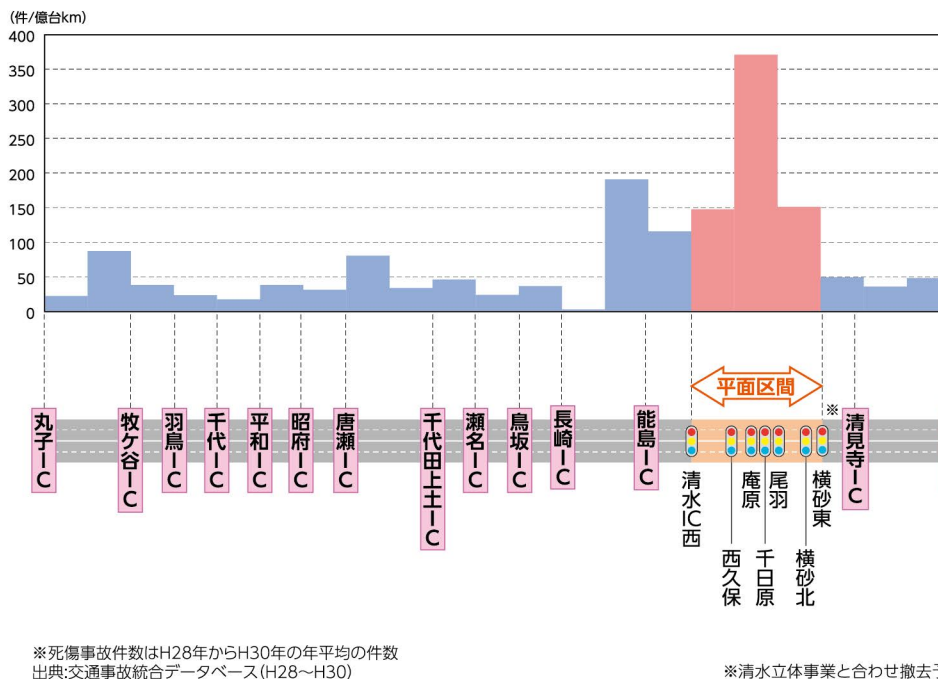
朝ピーク時の旅行時間短縮効果 (興津IC～丸子IC間)



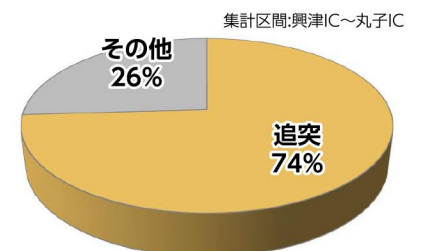
交通事故の削減

- 清水立体事業区間の平面区間では、死傷事故率が突出しています。
- 事故類型は渋滞が原因と考えられる追突事故が7割を占めています。
- 清水立体整備により渋滞緩和が図られ、死傷事故の削減が期待されます。

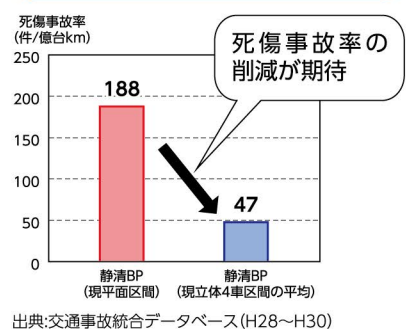
静清バイパスの死傷事故率



静清バイパスの事故類型



静清バイパスの死傷事故率



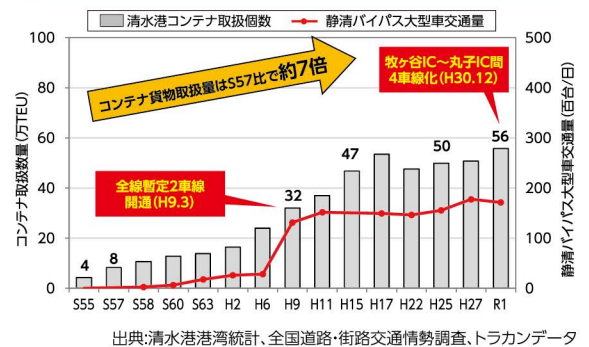
地域企業の産業活動支援と物流効率化

- 国際拠点港湾である清水港のコンテナ取扱量の増加とともに清水港に直結する静清バイパスの大型車交通量も増加しています。
- 静清バイパス及び清水港コンテナバースの整備に伴い、企業の物流施設が沿線に多数立地しています。
- 清水立体整備により清水港から物流団地までの旅行時間が約5分短縮することが見込まれ、活性化する地域の産業活動を支援します。

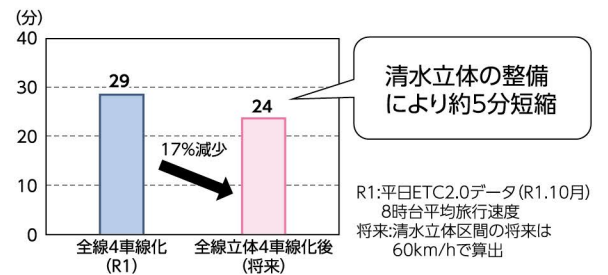
静清バイパス沿線の物流拠点立地状況



静清バイパス大型車交通量と清水港取扱貨物量の推移



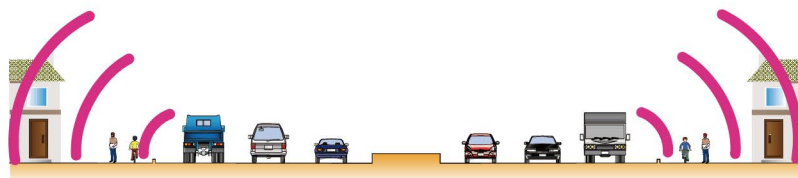
静清バイパス整備による旅行時間短縮効果(清水港→宇津ノ谷地区物流団地)



沿道の環境改善

- 交通渋滞が解消されることにより、CO₂の削減が期待できます。
- 立体化により、街路部の交通が減少するとともに、高架部に遮音壁を設置することで、騒音を抑制し、沿道環境の改善が期待できます。

現況



整備後



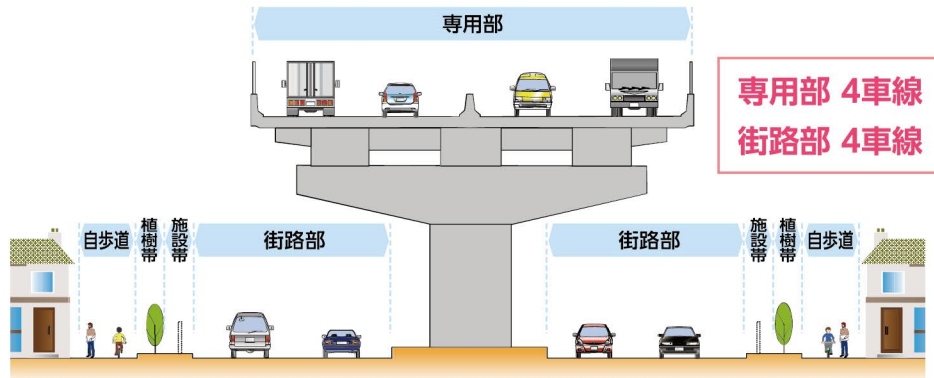
清水立体の概要

- 国道1号静岡バイパスは、静岡県静岡市清水区興津東町から駿河区丸子二軒家に至る延長24.2kmの主要幹線道路です。
- 国道1号静岡バイパスは、静岡市における通勤・通学・買い物などの日常生活の利便性の向上、交通混雑の緩和、交通安全の確保を図るとともに、静岡市を核として、放射状に伸びる幹線道路と接続し、今後の静岡都市圏の経済発展と都市整備に欠かすことのできない重要な路線です。
- 国道1号静岡バイパス清水立体は、バイパスの起点に位置し、静岡市清水区横砂東町～八坂西町を結ぶ延長2.4kmを高架構造にする事業で、交通渋滞の緩和・交通事故の削減・国際拠点港湾である清水港へのアクセス向上・高速道路インターチェンジへのアクセス改善等を目的とした事業です。

静岡バイパス位置図



横断図(標準部)



事業経緯・諸元

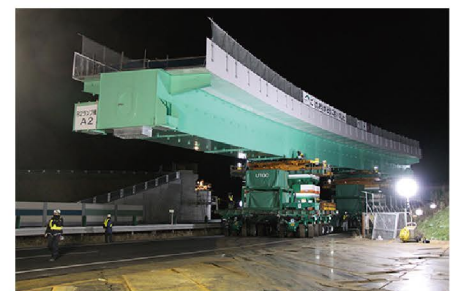
事業名	国道1号静岡バイパス	
事業着手	昭和43年4月	
都市計画決定	昭和46年3月	
事業区間	清水立体	
都市計画変更	平成20年1月	
起点 終点	起点:静岡市清水区横砂東町 終点:静岡市清水区八坂西町	
延長	2.4km	
道路規格	専用部	街路部
設計速度	第1種第3級	第4種第1級
車線数	4車線	4車線

構造・施工の工夫

- 交通規制日数を短縮するため、構造や施工方法の工夫を行っています



鋼製梁の採用



多軸台車を用いた橋梁架設(イメージ)

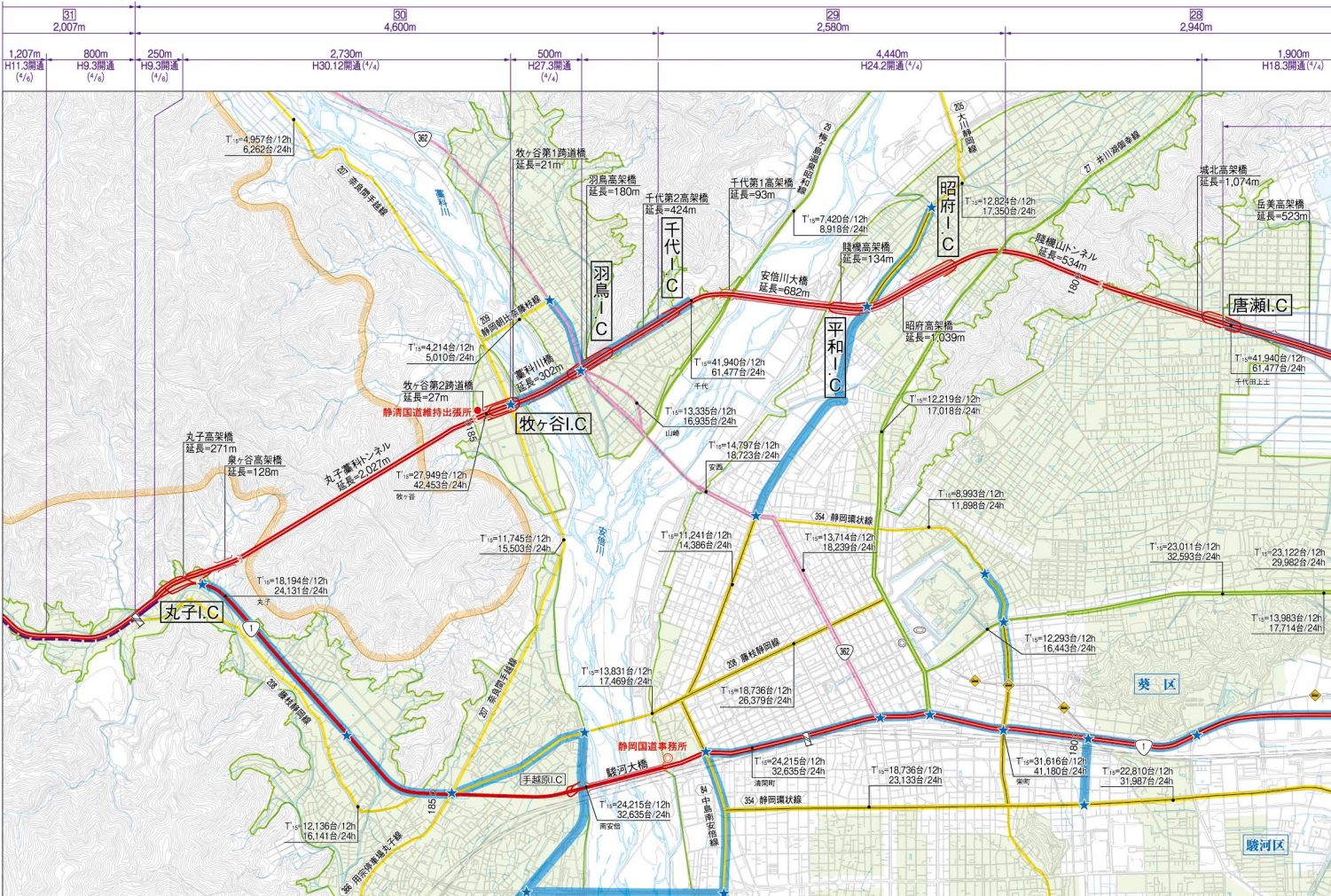
整備イメージ

● 横砂～八坂間を連続立体とし、尾羽地区、東名清水IC、八坂地区にインターチェンジを設置します。

完成イメージ図



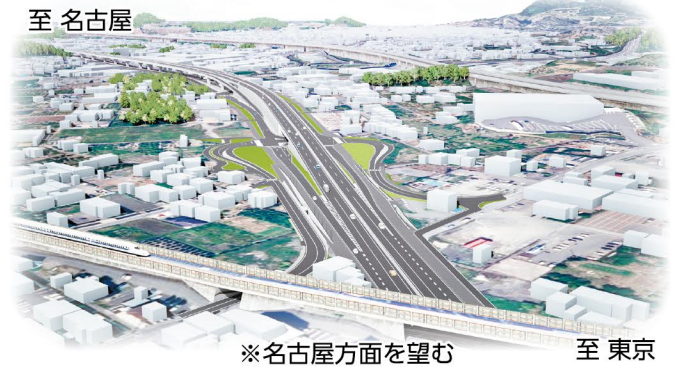
岡部バイパス 延長=7,209m



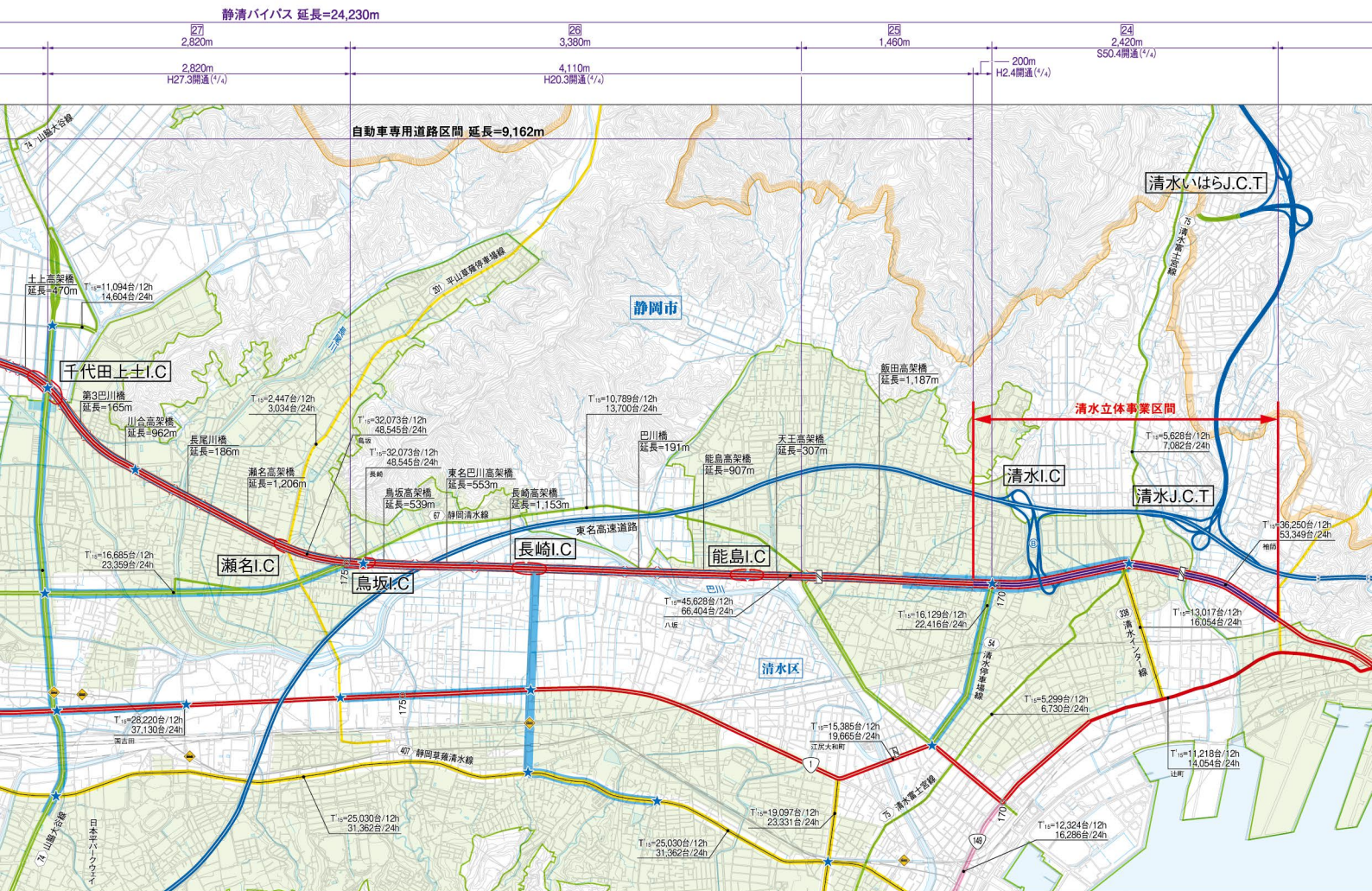
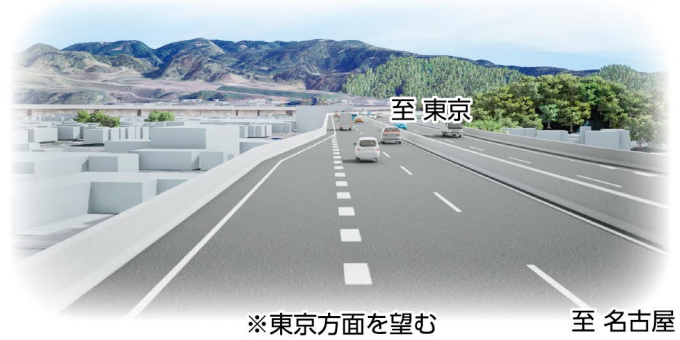
新インターチェンジ (尾羽地区)



(仮)横砂交差点付近



東名清水IC ONランプ付近(専用部)



東名清水IC付近

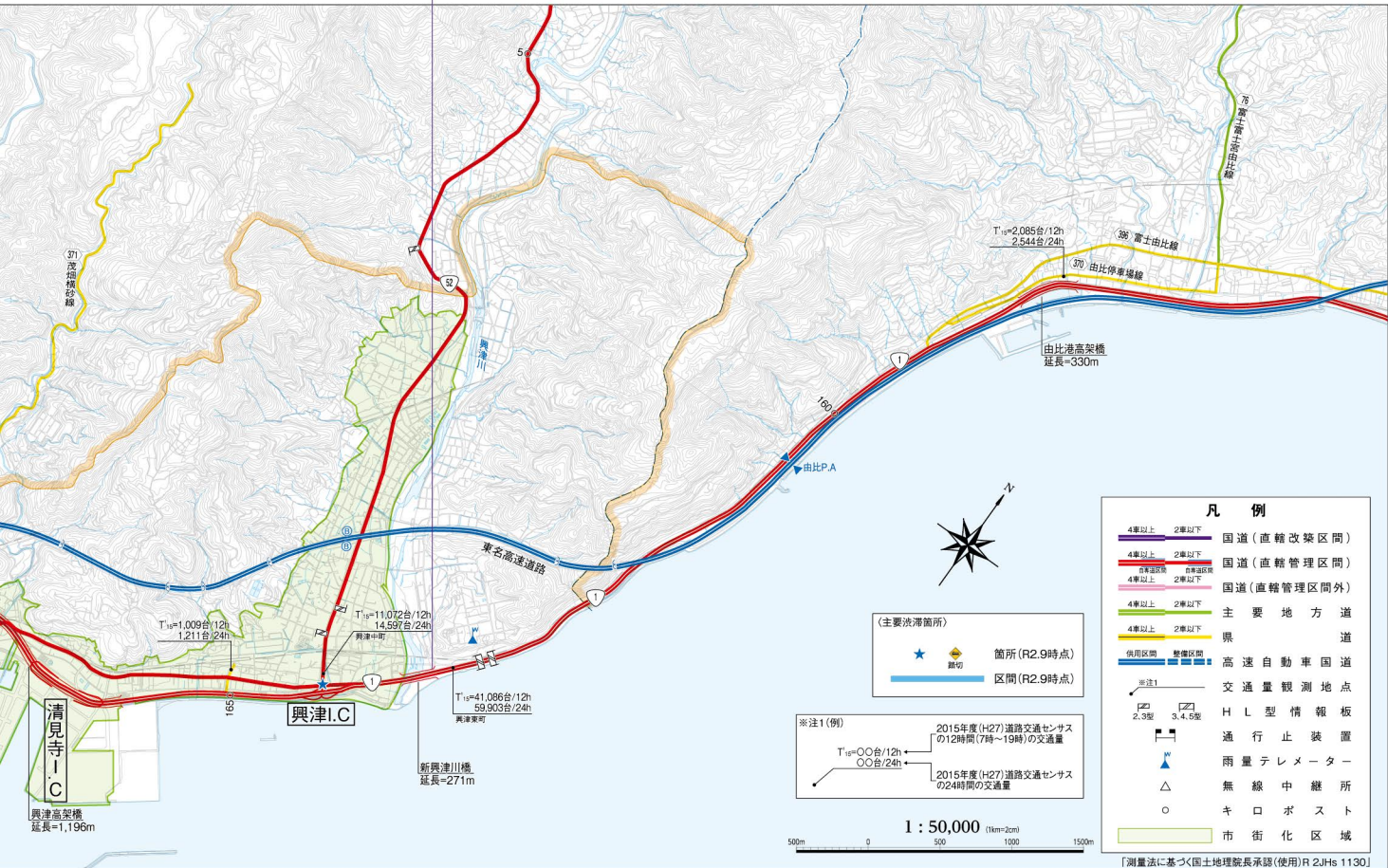


千日原交差点付近



23
4,030m
S50.4開通(4%)

国道1号 静岡バイパス (静岡国道事務所)



管内主要道路網



静岡国道事務所は、静岡県中部・東部地域の国道1号、52号および、139号の3路線148.7kmを管理しています。

各路線の維持修繕、交通安全施設等整備、防災および道路に関する許可事務等のほか、国道1号および国道139号のバイパス等の改築、国道1号の電線共同溝の新設、道路調査、建設機械整備等の業務を実施し、安全で快適な道づくりに取り組んでいます。

直轄管理延長

(2021年4月1日現在)

路線名	管理区間		延長 (km)	管内延長内訳			
	起点	終点		静岡国道維持出張所	延長 (km)	富士国道維持出張所	延長 (km)
1号	富士市中里字大角2515番1	島田市野田字鎌研1603番1	(23.4) 92.4	新富士川橋右岸から島田市野田	(23.4) 80.5	富士市中里から新富士川橋右岸	11.9
52号	静岡市清水区興津中町字弁天前622番	山梨県南巨摩郡南部町大字万沢字境川官有無番地	19.5	静岡市清水区興津中町から山梨県南巨摩郡南部町	19.5	—	—
139号	富士市中丸字木ノ市28番3	富士宮市根原字豊住176番1	36.9	—	—	富士市蓼原から富士宮市根原	36.9
計			(23.4) 148.7	—	(23.4) 100.0	—	48.8

(注1) 計数はそれぞれ四捨五入によるため、端数において合計と一致しない場合がある。
(注2) ()はダブルウェイで内書

国土交通省中部地方整備局 静岡国道事務所

〒420-0054 静岡県静岡市葵区南安倍2丁目8番1号
お問い合わせ: TEL(054)250-8900(代表)
FAX(054)252-5747
E-mail: cbr-sizukoku@mlit.go.jp
URL <https://www.cbr.mlit.go.jp/shizukoku/>

道路の異状を発見したら

道路緊急ダイヤル **#9910**

全国共通 24時間受付無料

※から始まるこの番号へ

